

新年号

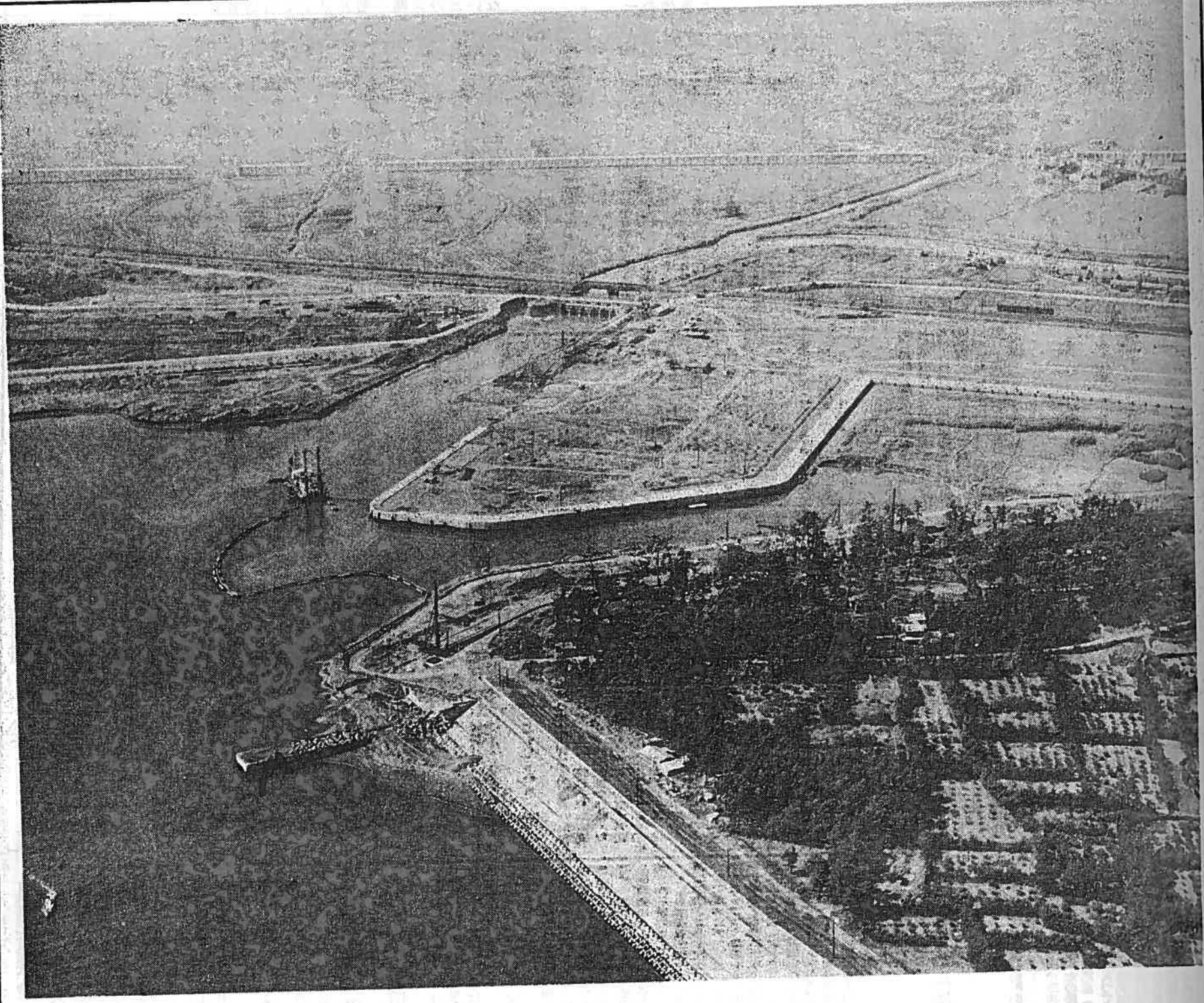
昭和39年1月1日

全世帯配布

広報 よしわら

発行所
吉原市役所
吉原市今泉43の1
電(代)03111番
編集 文書課
印刷
富士ニュース社

市勢		人口	
東経	138度41分	国勢調査	住民登録
北緯	35度09分	(35.10.1現)	38 11月30日現
東西	14.71%	総数	80,944人
南北	25.51%	男	40,547人
面積	174.56平方	女	40,397人
		16.239世帯	18.193世帯



新春を迎えて

広域都市づくりに一丸

吉原市議会議長 中村新吾

市民のみなさん、あけましておめでとうございます。希望の新春をむかえ、みなさんのご健康とご繁栄を心から祈りましょう。

吉原市は、ここ数年、市の発展ならびに市民福祉の増進をかねがえ、文教、衛生行政に思いきつた施策をすすめてきました。とくに、昨年の七月には、東駿河湾工業整備特別地域に指定され将来の発展が約束されたことは吉原市だけでなく、この中南工業地域の住民すべてにあたられた恵福です。この意味からして、この中南工業地域が一丸となつて、これに対処しなくてはならないと痛感されます。

幸い指定をうけた地域の、住民生活は風俗、習慣をはじめ、産業、経済、教育文化、交通などあらゆる面にその共通性と交流がはかられている富士市、鷹岡町および吉原市の二市一町が新しい時代の息吹とともに結集されてゆくことを信じます。幸いにして昨年九月に、中南広域都市行政研究連絡協議会が発足したことは、当地域一帯における恵まれた経済の、たくましい発展にともなう、必然的な現象といえるでしょう。

かがやしい新春をむかえ、つねに進展する新しい時代の欲求にこたえるために、心気一転、これら重要事業の遂行と市政全般にわたる内容充実に渾身の努力をそそぐことを議員一同ちかうものです。

昭和三十九年が市民みなさんにとって最良の年でありましようお祈りします

(写真、上空から望む田子の浦港「吉原ふ頭」)



より豊かな郷土を建設

吉原市長職代理者 吉原市助役 土屋政吉

市民のみなさんとともに、一九六四年の迎春をおおぎ、この一年こそ、郷土のためによき年であることを心から祈りたいと存じます。

文字どおり、選挙に明け、選挙に暮れた昨年中は、まったく心のやすらぎを求めることができず、しかも市民ひとしくお慕いし、敬仰していた金子市長さんの急逝という、あまりにも悲しく悼ましい大打撃をうけ、まことに、多事多端な一年でした。

幸い、偉人でおられた金子前市長さんによつて、「自治」とはどうあるべきか、その理念は「如何にして、生かされるべきか」を永年にわたり、私たちが後代のもののために自らを犠牲にして、立派に示していただき、且つ、ゆるがざるものとして培われてまいりました。もとより、私たちは金子前市長さんに遠くおよばないのは十二分に承知していますが、すこしでもその高邁な自治の理念に近づこう誠実な努力を怠らず、すべての「智」と「愛」を結果して、より豊かな郷土建設のための大同団結を図るべきものと信じます。

破形、開運の「辰年」にあやかつて、ことしも真剣に職責を完うしてまいりる覚悟です。議会をはじめ、市民みなさんのご支援ご協力を切に希つてやみません。

おたがい、しつかり頑張らましよう。

この愛する郷土のために。